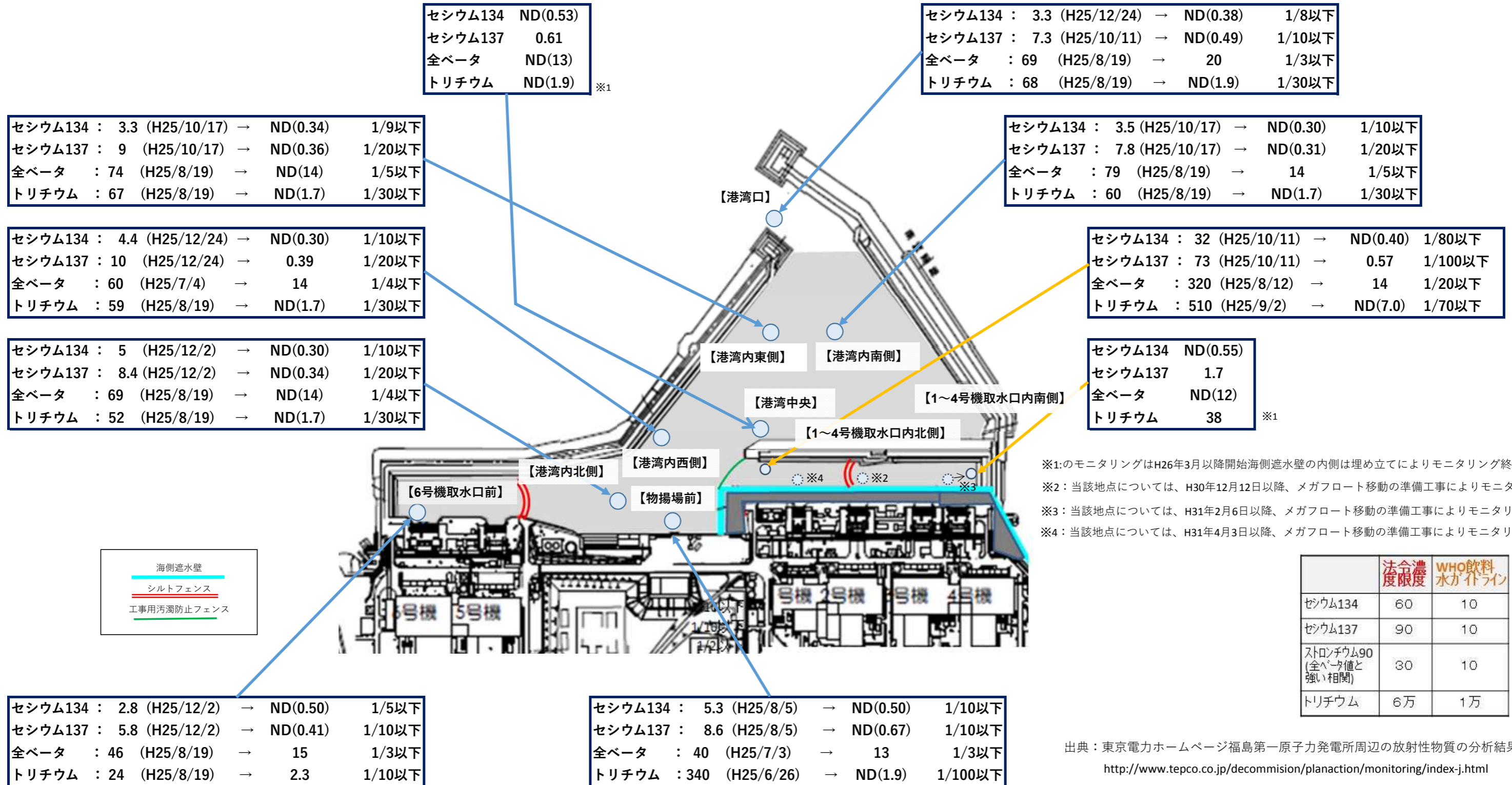


港湾内における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

『最高値』→『直近(2/7-2/14採取)』の順、単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記

令和4年2月15日までの東電データまとめ

注：海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40（12ベクレル/リットル程度）によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる



※1: のモニタリングはH26年3月以降開始海側遮水壁の内側は埋め立てによりモニタリング終了
 ※2: 当該地点については、H30年12月12日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了
 ※3: 当該地点については、H31年2月6日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング地点移動
 ※4: 当該地点については、H31年4月3日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了

出典：東京電力ホームページ福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果
<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

港湾外近傍における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満の場合はNDと表記し、（ ）内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

（直近値 2/7 - 2/14採取）

令和4年2月15日までの東電データまとめ

	法定濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90 (全ベータ値と強い相関)	30	10
トリチウム	6万	1万

【港湾口北東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.55)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.62)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(13)
トリチウム	: ND (H25)	→	ND(0.94)

【港湾口東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.56)
セシウム137	: 1.6 (H25/10/18)	→	ND(0.65) 1/2以下
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(13)
トリチウム	: 6.4 (H25/10/18)	→	ND(0.94) 1/6以下

【港湾口南東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.71)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.70)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(13)
トリチウム	: ND (H25)	→	0.94

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.85)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.47)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(15)
トリチウム	: 4.7 (H25/8/18)	→	ND(0.94) 1/5以下

【北防波堤北側(沖合0.5 km)】

セシウム134	: 1.8 (H25/6/21)	→	ND(0.67) 1/2以下
セシウム137	: 4.5 (H25/3/17)	→	ND(0.66) 1/6以下
全ベータ	: 12 (H25/12/23)	→	8.5
トリチウム	: 8.6 (H25/6/26)	→	0.95 1/9以下

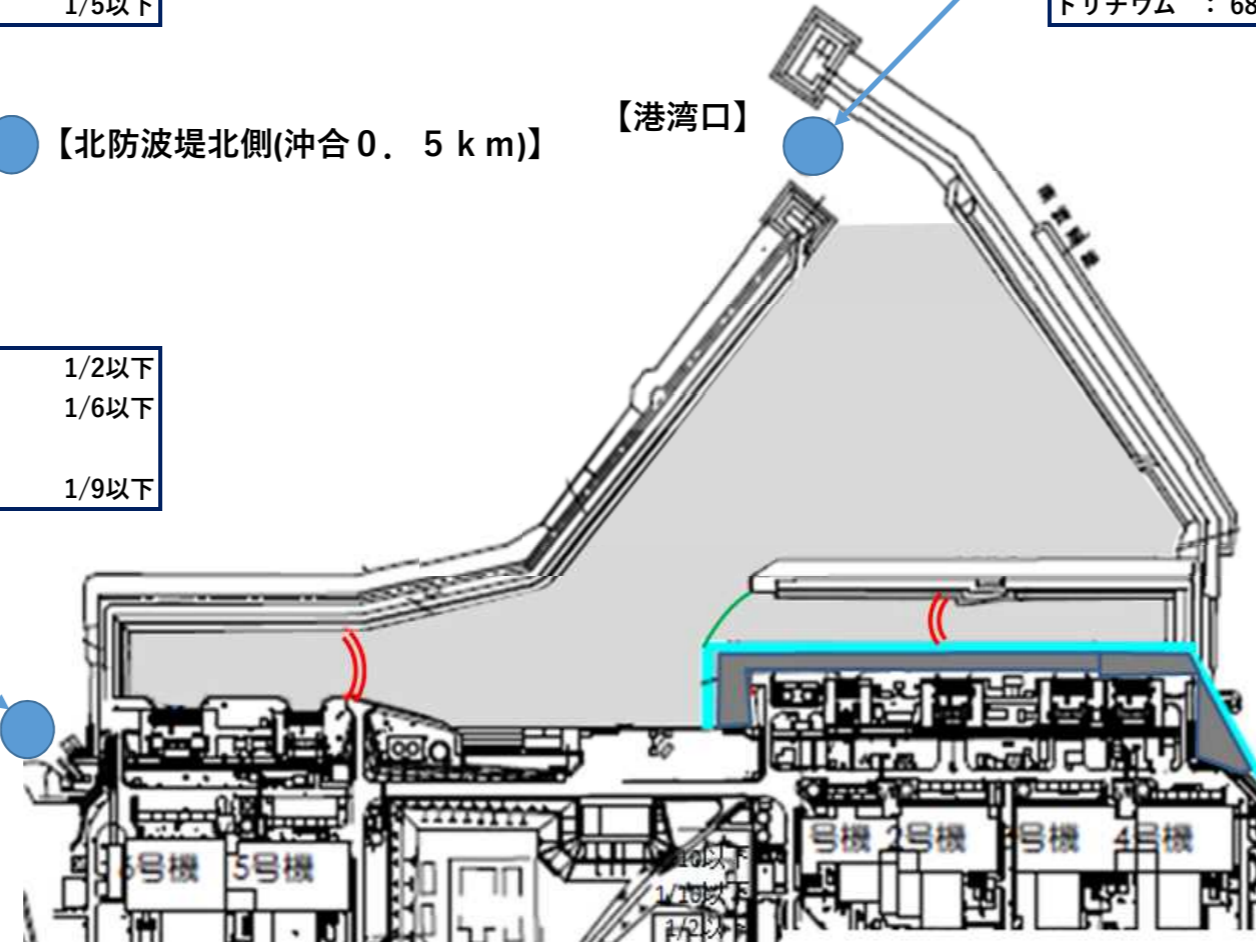
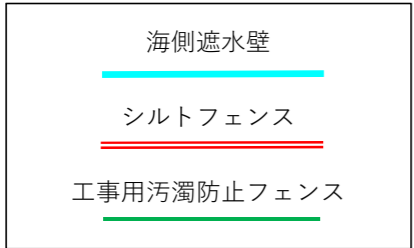
【港湾口】

セシウム134	: 3.3 (H25/12/24)	→	ND(0.38) 1/8以下
セシウム137	: 7.3 (H25/10/11)	→	ND(0.49) 1/10以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19)	→	20 1/3以下
トリチウム	: 68 (H25/8/19)	→	ND(1.9) 1/30以下

【南防波堤南側(沖合0.5 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.74)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.79)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	ND(0.94)

【5,6号機放水口北側】



【南放水口付近】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.52)
セシウム137	: 3 (H25/7/15)	→	ND(0.53) 1/5以下
全ベータ	: 15 (H25/12/23)	→	8.0
トリチウム	: 1.9 (H25/11/25)	→	ND(0.95) 1/2以下

注：海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40（12ベクレル/リットル程度）によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる

注：H28年台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1～4号機放水口から南側約330mの地点で採取。さらに、H29.1.27から同放水口から南側約280m地点で、H30.3.23からは約320m地点で採取。